

よしだ 議会だより



北オアシスパーク貯水タワー

第83号

吉田町議会

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
平成28年11月発行
責任者 議長 大塚邦子

平成28年第3回定例会	2
一般質問 6人が町政を問う	8
委員会報告	14
まちの話題	16

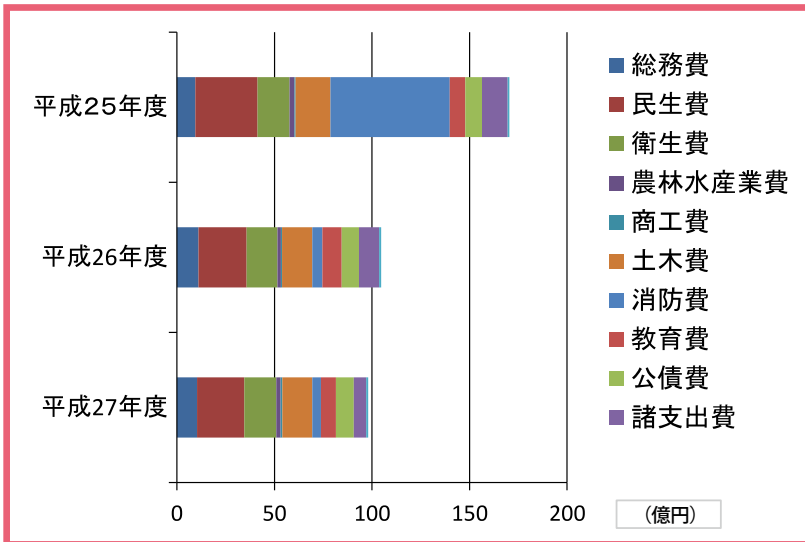
会計、企業会計決算を で 認 定

27年度一般会計決算

歳入総額：	103億861万円
	(前年度 109億5,117万円)
歳出総額：	97億9,778万円
	(前年度 104億6,643万円)
歳入歳出差引残額：	5億1,083万円
	(前年度 4億8,474万円)

9月1日から23日までの会期で第3回定例会を開催し、27年度一般会計、特別会計、企業会計の決算認定7件、補正予算5件、条例の制定2件、指定管理者の指定2件、人事案件1件を審議し、認定、可決、同意した。

歳出決算の変遷



27年度一般会計決算質疑

歳入

問 町税の不納欠損額が増えているが、滞納整理を強化した。執行停止から3年で不納欠損としているが27年度は増加した。

答 町税の不納欠損額が増えているが、滞納整理を強化した。執行停止から3年で不納欠損としているが27年度は増加した。

問

国は消費税の引き上げ分は社会保障費に回すとしているが、どこに回っているのか説明がない。

答 地方消費税の交付金は一般財源と合わせて社会保障費に充当されており、科目は特定できない。

問

社会保障の財源に使用されていることを町民に知らせるべきではないか。

答 広報で明らかにしていく。

問

臨時財政対策債の用途を明確にする必要があるのではないか。

答 起債の活用方法は社会資本充当が原則だが、特例的に地方交付税で措置する財源を起債で補うもので、建設債としての扱いはしていない。

臨時財政対策債

国の地方交付税特別会計の財源が不足し、地方交付税として交付すべき財源が不足した場合、地方交付税の交付額を減らして、その穴埋めとして地方公共団体自らに地方債を発行させる制度。償還費用は後年度地方交付税に算入される。

27年度 一般会計、特別 全会一致

27年度の主な事業



防災公園（北オアシスパーク）

1億3,470万円



富士見幹線・住吉幹線

避難路整備事業

2億2,079万円

・内陸フロンティア事業	614万円
・ウォーキングマップ・マイレージシート等	93万円
・子育て世帯臨時特例給付金事業	1,439万円
・子ども発達支援事業	1,780万円
・地域子育て支援拠点事業	699万円
・飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金	269万円
・吉田町ラーニングプラン委託料	523万円
・大井川 smile ネット事業	343万円
・社会保障・税番号制度システム改修事業	3,112万円
・ホームページ改修業務	556万円
・臨時福祉給付金事業	2,325万円
・商工業振興費（プレミアム商品券）	3,236万円

歳出

【総務費】

問 マイナンバー制度導入に伴うシステム変更の支出がある。国の制度改正であり、一般財源の支出の抑制は。

答 業務によって10分の10、あるいは3分の2の国支出金があるが、補助対象以外の業務にわたらないよう努力した。

問 自治会役員への女性登用の補助金の成果は。

答 きっかけづくりが目的であり、4人が役員となったことは成果と考える。

問 ホームページのリニューアルの成果は。

答 成果はまだ現れていないが、見やすくなったと聞いている。各課で直接情報発信ができる。

問 内陸フロンティア事業の進捗状況は。

答 立地企業を固める見通しも立ってきた。期待してほしい。

問 カムカム補助金対象のイベントに12万人が訪れたが経済効果は。

答 調査はしていないが、宿泊、買い物などの経済効果があったと聞いている。

問 臨時財政対策債は交付団体において交付税算入される財源だが、不交付団体になったらどうなるのか。

答 不交付団体にならなかったら、交付税はないので、自主財源の中でまかなうことになる。

吉田カムカム補助金

(大規模イベント補助金：12万人参加・250万円)

- ★頂2016 50万円
- ★ワトワェin吉田町 50万円
- ★秋の彩りまつり 50万円
- ★フェリアまつり 100万円

【民生費】

問 高齢者移動支援事業は社会福祉協議会でボランティアによる送迎を行っているが、利用者を増やす努力は。

答 ボランティア8人により通院などの支援をしているが、まず運転者のボランティアを増やしたい。

問 他の移動支援制度を検討しているか。

答 福祉バス、タクシー助成などを検討したが、対象者の拡大と合わせて制度も検討していく。

問 ひとり親家庭就学支援事業の周知方法は。

答 受給対象者は把握しているので個別にお知らせしている。

問 保育園の育休退園児はいないか。

答 27年度は退園児がいたが現時点ではない。

【衛生費】

問 飼い主のいない猫の不妊・去勢補助金の効果は。

答 苦情が減った。効果はすぐにはあらわれないが、子猫が生まれてこない状況をつくりたい。

問 ダンス健康づくり補助金のメリックとは。

答 各団体が自由な発想のもとで取り組んでいて効果がある。



飼い主のいない猫

【農林水産費】

問 吉田漁港内の清掃を漁協に補助しているが、漁港管理費として支出すべきでは。

答 港内の流草木の清掃などを漁協にお願いしている。

【商工費】

問 小山城売店の手数料とは。

答 グッズなどの販売手数料をいだけている。

問 企業立地推進費の企業相談件数9件とあるが、開発行為申請などと合わせて各課で連携を取っているのか。

答 連携を図って推進している。

問 プレミアム商品券消費の多くが大売店などで、町内の小売店には回らなかったのか。

答 1万50000セット販売し、アンケートを実施したがおおむね満足との回答であった。半分はスーパーやドラッグストアで消費された。町内での経済効果はあったと思う。

【土木費】

問 TOUKAIの事業は補助金を、もつと有効に使用すべきと思うが。

答 啓発したが結果として達成できなかった。

問 ブロック塀など改修が必要な個所がたくさんある。どのように推進していくのか。

答 昭和56年以前建築のお宅にメールを送ったり訪問したりした。依然として木造家屋の改修率が低い。

問 この事業を推進するため新しい計画は検討しているか。

答 都市環境課と防災課と協議している。

【消費費】

問 地区防災指導員の養成は。

答 地域と連携して普及していきたい。

平成25年市町別「お達者度」の状況

	男性		女性	
	市町	健康寿命	市町	健康寿命
1	川根本町	18.73歳	吉田町	21.93歳
2	森町	18.33歳	森町	21.88歳
3	藤枝市	18.32歳	川根本町	21.84歳
4	河津町	18.24歳	御殿場市	21.76歳
5	御殿場市	18.18歳	伊豆の国市	21.41歳
6	浜松市	18.13歳	島田市	21.35歳
7	磐田市	18.10歳	裾野市	21.32歳
8	湖西市	17.94歳	伊豆市	21.30歳
9	裾野市	17.89歳	清水町	21.30歳
10	掛川市	17.88歳	湖西市	21.23歳
11	島田市	17.87歳	函南町	21.21歳
12	吉田町	17.85歳	浜松市	21.18歳

静岡県健康増進課資料：65歳から元気で自立してくらせる期間

**土地取得事業
特別会計決算質疑**

問 今年度は買い戻す事業がなかったのか。

答 買い戻す事業がなく財政的にも今年度は行わなかった。

問 買い戻し価格の基準は何か。

答 買い戻し価格は買った時の取得価格になる。

問 片岡150線後退用地の残った土地は今後のような処理をするのか。

答 道路後退部分は買い戻しを行う方針である。

**国民健康保険事業
特別会計決算質疑**

問 国保加入促進、未納者対策は。

答 非自発的失業者は軽減措置の対象になる事もあり(100分の30)、説明し指導している。未納者については、分納、徴収の猶予などの制度がある。

問 高額医療費を抑える対策は。また人間ドックを若い世代に、どのように普及していくのか。

答 高額医療費を抑える対策は。また人間ドックを若い世代に、どのように普及していくのか。



健康マイレージパンフレット

答 高血圧、生活習慣病の割合が高くなっている。特定検診の受診率アップに力を入れていく。人間ドックも検診データを持参して頂いて2万円補助する。

問 後期高齢者医療事業特別会計決算質疑

答 質疑なし

**介護保険事業
特別会計決算質疑**

問 介護保険法改正に伴いサービス内容が変わったが運営協議会の中で何が話し合われたか。

答 介護保険の運営状況と新たな施設の状況について制度的な話はない。

問 地域支援の充実を図るために新たな取り組みで利用者の皆さんに評価されている事は何か。

答 高齢者が安心して在宅生活が送れるよう、医療と介護の連携が取れる体制を整えている。認知症対策では、認知症マニュアルを作成し周知をしている。

問 地域支援の充実を図るために新たな取り組みで利用者の皆さんに評価されている事は何か。

答 高齢者が安心して在宅生活が送れるよう、医療と介護の連携が取れる体制を整えている。認知症対策では、認知症マニュアルを作成し周知をしている。



よしだアスカの里

**公共下水道事業
特別会計決算質疑**

問 下水道管工事の整備延長に対して、加入対策戸数が少ないが。

答 東名川尻幹線の工事であった。住宅が少ない地域であるが、今後川尻へ広がっていく予定である。

問 浄化センターの電気設備、機械関係の更新事業を行っている。計画の変更があったのか。

答 長寿命化計画は5年間で言う予定であり、変更はない。

問 下水道事業債も一般会計の起債と同じように金利の10年見直しをしているか。

答 下水道事業債は固定金利の安い借入をしている。事業債制度上の見直しを行い公債費を抑える。

**水道事業
特別会計剰余金の処分及決算質疑**

問 上水道管路台帳システムを利用することにより人件費が削減できるのでは。

答 システムを利用することにより残業の減少で効果が表れている。

問 資格保持者の状況は。

答 技術管理者4人候補者二人いるが研修などで技術者を増やしていく。



第5水源

平成28年度一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出4億372万円増額 予算総額99億9,572万円となる

歳入の質疑

問 二酸化炭素排出抑制対策事業費について早期議決しなればならない理由は。

答 国の募集が7月15日にあった。9月国に対して交付申請を行うため、予算措置が必要な事から早期議決をお願いした。

問 幼稚園就園奨励費は166万円の国庫補助金増額を見込むが、この算定根拠と周知方法は。

答 町のホームページを通して周知していく。3分の1補助で166万円になる。各家庭によって所得制限、一人親家庭、多子世帯など、補助区分があり個別に説明する

問 ふるさと納税3000万円を1億2000千万円に増額した根拠は。

答 委託業者「さとふる」への平日申込み金額を基準に計算した。

問 委託業者「さとふる」と決めた経緯は。

答 全国有名上位3社、サービス内容料金形態、サイトの集客力、決済の手段、配送管理、お客様に対する対応など、行政や事業者が負担が少ない事などを評価した。



幼稚園

歳出の質疑

問 ふるさと納税返礼品を扱う事業者の選定について条件はないか。

答 返礼品について広報よしだで募集する。また商工会などを通じ随時募集する。寄付金5000円以上の返礼品については町内に限定している。

問 ふるさと推進業務委託料1289万円の内容は。

答 「さとふる」の委託料と寄付者に対する礼状、納税証明書などである。

問 保育士の処遇改善が全国的に言われている。当町の非常勤職員の処遇改善は。

答 非常勤の保育士は時間給を100円アップする。



さくら保育園

問 町立保育園の保育料は。

答 町立保育園保育料は第3階層第1子について保護者の負担がほぼ均等、第2子半額、第3子無償化、所得階層によって違ってくる。



北オアシスパーク



ふるさと納税チラシ

**国民健康保険事業
特別会計補正予算質疑**

問 1億5000万円の繰越金があるが、国保税の引き下げはできないか。

答 繰越額が確定したことによる補正である。医療費もアップしており国保税の引き下げは考えていない。

**公共下水道事業
特別会計補正予算質疑**

問 1000万円の耐震診断委託料と、発電機を乗せるための耐震診断委託料は別なのか。

答 当初予算100万円、補正予算1438万円、合計2438万円は非常用発電機を2階に設置するため、水処理棟の建屋、基礎部分の詳細な耐震診断事業を行う委託料である。

条例の制定

吉田町防災公園の設置、管理及び使用料に関する条例

問 7条の禁止行為の項目の中にドローン、ラジコン飛行機などの利用禁止がないか。

答 現時点では禁止していない。問題はないと考える。

問 一般社団法人吉田町まちづくり公社が管理棟に事務所を置くにあたり、条例がないがどのように扱うのか。

答 指定管理者としての議会の議決をいただかないと管理者になれない。

問 指定管理を5年後の継続は。

答 当局は賑わいづくりまちづくりを

**ふるさとよしだ
寄附基金条例**

進めるため、まちづくり公社を立ち上げた。無期限ではない。議案を出させていただき、その都度審議していく。

問 条例中「町長」を「指定管理者」と読み替える時の決定方法は。

答 独立した社団法人であり、委任事項について協議する理事会もある。意思決定は理事長にある。

指定管理者の指定

質疑 なし

吉田町総合障害者自立支援施設

社会福祉法人 牧之原やまばと学園 理事長 長澤道子

吉田町防災公園

一般社団法人 吉田町まちづくり公社 代表理事 須永宣 指定の期間 平成28年10月1日
平成33年3月31日

人事案件

吉田町教育委員会の委員の同意
片岡2032番地 塚本 成男 氏



国民健康保険税パンフレット



吉田町浄化センター



吉田町



町政を問う

山口 一博 議員

問

学校の多忙化を解消して、生徒と向き合う時間を確保しているのか

答

それぞれの学校現場、教育委員会で努力している



問 町内の小・中学校の生徒たちが、より良い学校生活をおくるため、教員の多忙化解消として「吉田中学校部活動」と「教員ICT化」について質問をした。

問 日本の中学校の教員の平均週間労働時間は、53.9時間だが吉田中学校教員の実働と土日勤務は。

答 平均勤務労働時間は一週間当たり61.9時間となり、一学期の学校休日での部活動での平均勤務時間は、46人が指導に当たり、土曜日3時間45分、日曜日3時間15分だった。

問 現在6人の外部コーチが無償で指導しているが、多忙化解消のためにも、町内の有能な人材を活用して、有償の部活支援員を確保して、教員の手助けはできないのか。

答 引率や責任問題が出てくるが、全体をみて取り組みたい。

非認知能力

やりぬく力、やる気があり意欲的。忍耐強く粘り・根気・気概がある、自制心がありリーダーシップがある。すぐに立ち直り・外交的・好奇心がある。IQや学力・記憶力など数値化が可能な能力が**認知能力**。近年の調査では、非認知能力が、経済的・社会的な成功に大きな影響をおよぼし、「15歳の学力・家庭の蔵書数・中学時の部活・生徒会活動」が大きな鍵を握ると言われている。

問 9教科は観点ごとの基準を設け点数化されているが、3年間の部活は、生徒が長時間過ごす大事なことだが、プログラム化や生徒指導の基準を設けているのか。

答 学校現場では、すみ分けは行っていないが、特別な教科の道徳科をはじめ、学級活動や生徒会活動などは、非認知能力の育成の場であると捉えて毎年作成する年間指導計画がプログラムに相当する。

問 学校ICT化の有効な活用について、以前より進んでいるのか。毎年、学校へ提出する生徒情報や地図は昨年と殆ど変化がないのになぜ同じように提出するのか。住吉小学校では、昨年まで一人の教員で全校生徒分を処理していたが。

答 安全性の確保ができない限り難しく、地図ソフトも導入していないのが現状。支援員ではなく、教員自ら行うのはセキュリティ対策からしても当然である。



ICTの流れ



町政を問う

大石 巖 議員

問

子どもたちが安心して遊べる児童遊園地の整備、能満寺山公園の整備計画について

答

子育て支援できる効果的・効率的方法を検討する、能満寺山公園は計画に沿った整備に努める

「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり」の「子育て支援」の分野において「子育て支援サービス」の充実」という施策がある。「児童遊園地整備事業」を実施計画の中に

問 第5次吉田町総合計画での児童遊園地の位置付けは。現在、町で管理している児童遊園地は8カ所である。

答 「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり」の「子育て支援」の分野において「子育て支援サービス」の充実」という施策がある。「児童遊園地整備事業」を実施計画の中に

小さな子どもさんをお持ちの方々から、「近くに安心して遊ばせる児童遊園地があったら」という声を聞く。吉田町に住み、安心して子育てできる環境の整備が必要と考える。

また、吉田町の中心に位置し、「観光の玄関口」としても重要な能満寺山公園も、市民が気軽に訪れ、歴史や自然に触れる機会として大事な公園と考える。

位置付けている。

問 町内会単位での児童遊園地の整備が必要ではないか。

答 人口一人当たり公園面積は充実している水準にあり、子供の遊び場は確保されていると考える。



住吉・旧児童館跡地の児童遊園地

問 能満寺山公園の整備が進んでいない理由は。

答 公園や遊園地に対するニーズも異なり、そうした整備方法は検討していないが、公共施設全体で子育てを支援できる効果的・効率的方法を検討していく。

問 児童遊園地の整備が必要ではないか。

答 人口一人当たり公園面積は充実している水準にあり、子供の遊び場は確保されていると考える。

問 町内会単位での児童遊園地の整備が必要ではないか。

答 人口一人当たり公園面積は充実している水準にあり、子供の遊び場は確保されていると考える。

問 児童遊園地の整備が必要ではないか。

「吉田町緑の基本計画」で町のシンボルとなる歴史や観光の拠点として位置づけており、歴史的環境と賑わいを大切に、個性的活力と潤いのあるまちづくりを行う整備計画を設定している。高齢者や小さなお子さんなど、誰でも容易

問 能満寺山公園の整備が進んでいない理由は。

答 公園や遊園地に対するニーズも異なり、そうした整備方法は検討していないが、公共施設全体で子育てを支援できる効果的・効率的方法を検討していく。

問 児童遊園地の整備が必要ではないか。

答 人口一人当たり公園面積は充実している水準にあり、子供の遊び場は確保されていると考える。

問 町内会単位での児童遊園地の整備が必要ではないか。

答 人口一人当たり公園面積は充実している水準にあり、子供の遊び場は確保されていると考える。

問 児童遊園地の整備が必要ではないか。



能満寺山公園区域図（榛南広域都市計画図から抜粋）

問 第5次総合計画での整備計画は。

答 総合計画の期間中には、歴史や観光の拠点として、高台への駐車場を始めとして、計画に沿った整備に努めていく。

問 能満寺山公園の整備が進んでいない理由は。

答 公園や遊園地に対するニーズも異なり、そうした整備方法は検討していないが、公共施設全体で子育てを支援できる効果的・効率的方法を検討していく。

問 児童遊園地の整備が必要ではないか。

答 人口一人当たり公園面積は充実している水準にあり、子供の遊び場は確保されていると考える。

問 町内会単位での児童遊園地の整備が必要ではないか。

答 人口一人当たり公園面積は充実している水準にあり、子供の遊び場は確保されていると考える。

問 児童遊園地の整備が必要ではないか。

答 人口一人当たり公園面積は充実している水準にあり、子供の遊び場は確保されていると考える。



町政を問う

遠藤孝子議員

問

吉田町の次代を担う心豊かな人を 育む教育について

答

幼保・小中一貫したつながりのある教育の実践

問 幼児教育カリキュラム作成の進捗状況について。

答 幼児教育カリキュラム作成委員会の学識経験者として

文部科学省の直接の助言による幼児教育に精通した千葉大学松壽教授に依頼し、9月7日に第一回を開催した。

幼児期に育てたい資質・能力との三つの柱と「幼児期の終わりまでに育って欲しい幼児の具体的な姿」として、「健康な心と体」「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「数量・図形、文字等への関心・感覚」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」を重点的取り組み内容とした。12月までに原案を作成し年度内に完成させる。

子どもの育ちを支える基本的な事項について

て指導のねらいや内容を共有し、家庭や地域でも取り組めることができることを目指している。

問 小中一貫した教育を推進するための「教育カリキュラム」の作成の要点及び配慮点について。

答 吉田町版「幼保・町内小中一貫教育」の確立に向け、幼保・小の接続期における「小一プログラム」と小・中の接続期における「中一ギャップ」に配慮しながら、「幼児教育カリキュラムの過程の推移を見極めな

ら、「教育カリキュラム」作成について検討していく。

問 吉田町ラーニングプランの推進について、学校における授業改善や公設学習塾の実施状況と課題について。

答 ラーニングプラン委員会です学力調査結果を共有し、授業改善の取り組みについてPDCAサイクルを回している。課題は学力調査結果に基づいた授業展開が学力下位層を中心としたものになり、学力上位層を引き上げることに繋がっていない傾向が表れている。習熟度別指導、個別指導を導入する。公設学習塾は第5回までで延べ826人参加、現職教員、教員OBや教員志望の大学生60人が講師となっている。保護者アンケートで子どもの学力や学習意欲に繋がっているが96%



公設学習塾



幼児教育カリキュラム作成委員会

である。課題は講師が少数の場合、指導が行き届かない恐れがある。

問 事業の継続性について。

答 社会の変化に対応しつつ最善の手段を選択しながら事業を継続していく。ラーニングプラン事業の目標を達成した上で、新たな目標を掲げ再スタートする。



町政を問う

藤田和寿議員

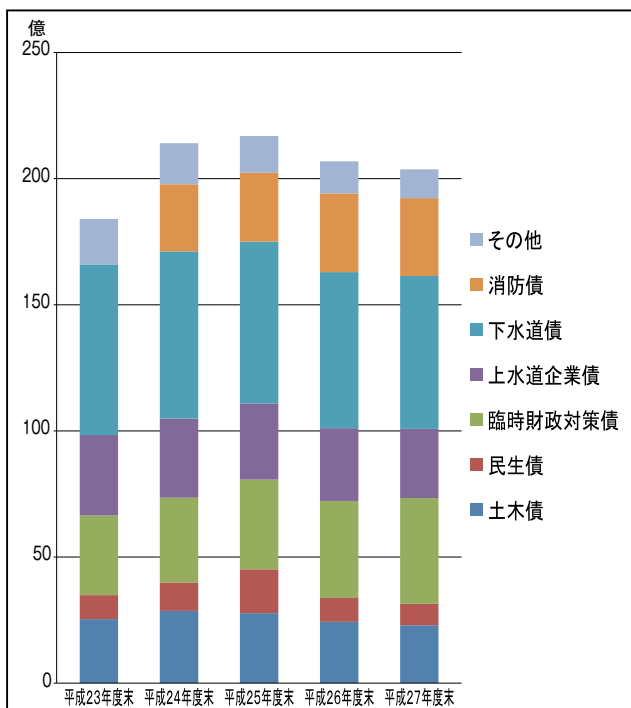
問 わが町の財政分析と財政計画は

答 将来にわたり安定的な行政サービスを可能とする財政運営を続けていく

指標	計算式	金額
形式収支	歳入総額－歳出総額	5億1,082万円
実質収支	形式収支－翌年度に繰り越すべき財源	4億2,785万円
単年度収支	当年度の実質収支－前年度の実質収支	1,687万円

平成27年度決算における状況

早期健全化判断比率指標	平成26年度	平成27年度
実質公債費比率	11.9%	10.4%
町に係る地方債の返済額及びこれに準じる額の大きさ指標化し、財政の弾力性を表す指標		
将来負担比率	84.3%	72.2%
一般会計等の実質的な負債の重さを診断する指標		



各年度の地方債現在高

第5次吉田町総合計画がスタートして、津波防災まちづくりの成果を活用した新たな賑わいと魅力づくりを進めるシーガーデンシティ構想の取り組みも始まりました。それら計画の裏付けとなる今後の財政運営について質問した。

問 財務分析として、収支の健全性は。

答 限られた財源の中で行政需要を最大限充足させる行政経営という視点が大切と考え取り組む中で、各収支は黒字であり良好と考える。

問 起債余力は。

答 健全化判断比率の実質公債費比率や将来負担比率などが他団体との比較において優れた指標となっている。

問 起債残高が増えている中で、どう

して比率が減少しているのか。

答 町債の管理原則「当該年度の借入額は、当該年度の元金償還額を上回らない」を忠実に実践しつつ、津波防災まちづくり事業に係る町債発行額を除いたことで起債残高が増加したが、交付税措置のある有利な地方債を借り入れたためである。

問 財政シミュレーションの結果は。

答 津波防災に直結する事業の町債発行額は、町債管理原則から除く。

問 シーガーデンシティ構想の起債ルールは。

答 今後における各年度末の町債残高と償還額のほか、実質公債費比率、将来負担比率を推計し、各比率ともに健全性を示す値の範囲内に収まっており、健全財政を維持できている。



町政を問う

山内 均 議員

問 防潮堤完成後の津波の大井川遡上について

答 海岸と河川の接続部分を合わせ、津波対策をするよう調整をとっていく予定である

吉田町は「レベル2」の津波高9.0メートルに対応した施策を展開している。

問 防潮堤の概要について、完成後の構想図はどのようなものか。

答 川尻海岸については「駿河海岸整備検討会」で整備断面イメージも示された。漁港から西の住吉海岸についてはこれから整備イメージを固めていくことになる。

問 住吉海岸には、生活をしている方が多くいる。皆さんの意見を聞き、取り入れながらやっていただけるという認識でよいか。

答 地元で生活しておられる方々への影響が少ない整備計画としていただくように国に要望していく。

過去の津波では、坂口谷川の例しかない

が、坂部の空港トンネル近くまで、海岸から約6.5キロまで遡上したことが調査できた。海抜は19.8m。

問 防潮堤完成後に大井川を遡上する津波はどのあたりまでくると考えていますか。

答 防潮されれば当然水は弱いところに向かう、河川の遡上については大きくなると思う。

問 堤防に関して、津波が与える影響はどのように感じ、どうしなければならぬかと考えているか。

答 海岸と河川の接続部分をあわせて津波対策をするように国と調整をとっていく予定である。ただし、海岸堤防の構造基準は決定されていない。

問 熊本地震では、2度の震度7による

り被害が拡大し家での待避ができなくなり、結果車中泊の問題が起きた、町の対応は。

答 北オアシスパークやすみれ保育園には、被災者支援に活用できる防災空地を設けており、車中泊避難者用のスペースを確保している。

問 車中泊避難者のエコノミークラス症候群に対応する計画は。

答 災害時における「マニュアル」を現在策定中である。



過去の津波到達調査地点（坂口谷川 坂部 空港トンネル付近）



大井川



町政を問う

蒔田昌代議員

問 浄化槽の点検と清掃について町の対応は

答 連絡会を開催し、質の向上を図っていく

問 町民からのさまざまな苦情を受けて町はどのような対応を図っているのか。

答 浄化槽に関する苦情などが寄せられたときは、町職員が現地に出向き、状況の聴き取り調査や浄化槽の不具合箇所の確認を行うとともに、浄化槽の保守点検や清掃を実施した業者に事情を聴くなどし、苦情の原因

浄化槽の点検と清掃について、町民から町へ業者に対するさまざまな苦情が多く寄せられたことを聞く。また昨年は公の施設においても浄化槽の点検と清掃を分けて発注したことで、点検においては相当のコストの削減が図られた。

子育て世代にわが町への定住を促進するためにも安心して、適正な価格でサービスを受けられるためにも町の対応を質問した。

究明に努めている。その結果、改善の必要が認められるときは、事業者に対し、浄化槽の適正な維持管理を行うよう指導している。

生活環境の保全と公衆衛生の向上を目的とし、浄化槽清掃業と一般廃棄物のし尿及び浄化槽汚泥の収集運搬業の許可をもっている業者と連絡会を開催している。

問 直近で行われた連絡会の内容はどのようなものか。

答 浄化槽法に定められた保守点検や清掃に係る主な規定、各業務の作業手順についての再確認を行なった。

問 連絡会の最終的目標と期限は。

答 業者が行う浄化槽業務の質の確保に努める。期限についてはこれまでと限っていない。



大窪川

問 連絡会に第三者を入れる考えはあるか。

答 町の一般廃棄物処理計画のもとで行っているため、町が座長となる。第三者を入れる考えはない。

問 町が浄化槽の清掃を許可した業者が4社あり、運搬まで許可した業者は2社である。競争原理も働きにくいと考えるが、その数の違いと状態をどう考えているか。

答 影響などを考えると、町の一般廃棄物処理計画に適合するものでなければならぬ。慎重に判断しなければならぬと考えている。

問 資質の向上を担保し、近隣市と比べて高い料金を下げることについてどう考えているのか。

答 料金については要件が違ってくるので公表は差し控える。町が指示することはできない。

総務文教常任委員会報告

議会閉会中の所管事務調査。

委員会経過

・7月4日

【調査事項】
40歳以上の健康づくり事業について。

委員会を開催し、調査方法や事業名などを決定した。

調査の方法と事業名

協議の結果、調査に先立ち、健康づくり課に説明を求め質問をすることに決定した。

【年代別調査】

- ・40歳以上44歳（青年期）
- ・45歳以上64歳（壮年期）
- ・65歳以上（高齢期）

①調査データに基づく、事業と現状。

②事業の目的

③各事業の優先順位

・7月20日

「健やかプラン吉田21、吉田町健康増進計画・吉田町食育推進計画の中間見直し」を基本資料から答えを聞いた。

委員長 山内 均

【事業名】

- ・健康マイレージ事業
- ・生活習慣予防啓発事業
- ・地区健康度アップ事業

・健康マイレージ事業
27年から新たに事業実施。

健康づくりを促すことを目的に、毎日の運動や食事・休養などの

目標を立て、ポイントのため、ポイントカード協力店や協力施設などのサービスが受けられる事業。

・生活習慣病予防事業。特定検診や病氣予防、重症化を防ぐ各種事業を展開している。

・地区健康度アップ事業。

生活習慣病予防の為に正しい知識の普及と検診の受診率向上を目指す。

・8月5日

各事業における「運動」「食生活」「社会参加」や他市町の実態調査をすることを決定した。

産業建設常任委員会報告

所管事務調査

「観光資源の開発」

7月12日（火）委員会

川尻区の御利益スポットについて協議し、4箇所を取り上げることを決定した。

御利益スポット

- ・小山のお観音さん
- ・お薬師さん
- ・延命地藏尊
- ・浜の棒杭さん
- また、観光スポットとして2箇所、富士山景観スポットを決定した。

富士山景観スポット

・大井川河口
・問屋川土手

7月26日（火）委員会

片岡区の御利益スポットなどについて協議した。

隠れたスポットとして油山さん、瑞穂神社を調査することを決定した。また、隠れた観光スポットとして龍光寺の石畳、片岡辻の道標を調査することを決定した。

8月17日（水）委員会
片岡区の御利益スポットなどの調査結果を発表し、取り上げることを決定した。

8月17日（水）委員会
第12回議会報告会報告書回答のため新たな所管事務調査として担当課に説明を受け回答を作成し当該所管事務調査の終了とした。

9月14日（水）委員会
先進地視察について協議し、香川県宇多津町、高松市を決定した。

閉会中の継続調査を決定した。

委員長 増田剛士

- 御利益スポット
- ・油山さん
- 観光スポット
- ・龍光寺内の中興の塔
- お弁天さん
- ・片岡辻道標

9月7日（水）委員会
北区の御利益スポットなどについて協議し決定した。

御利益スポット

- ・大智寺の観音さん
- ・大智寺イボとり地藏
- ・本寿寺の浄行菩薩
- 観光スポット
- ・徳川、武田将兵の慰霊碑



大智寺 イボとり地藏

吉田町議会議員研修会報告

平成28年9月29日

4階第一会議室にて

講師に(株)インソ

ス 松本富雄氏を迎え

議員研修を行った。

出席議員12人。(欠

席一人)

A, B, Cと3つの

グループに分かれ講師

を中心に講義、演習し、

質問を行う。また、日

経平均株価を例に数字

の見方と数字から読め

ることを聴く。

9時～12時

講義内容

パワーポイントプレゼンテーション研修

パソコンのパワーポイント機能を用い、議

会報告会に向けて資料

を作成する。

議会報告会でプレゼンテーションに必要な

事は何か。



パワーポイントプレゼンテーション



ファシリテーション研修

1. わかりやすい資料作りとは。

- ・資料作りの流れ
- ・資料の構成を考える

2. パワーポイントの有効な使い方。

- ・パワーポイントが得意とすること
- ・スライドを作成する(テキスト編)
- ・スライドを作成する(画像編)

3. 「伝える技術」を身につける。

- ・「話すこと」特有

の難しさとは

- ・「話す」にあたっての注意点
- ・プレゼン本番までの3ステップ

13時～16時

講義内容

ファシリテーション研修

会議のスムーズな進行を行うためのファシリテータースキルの向上をはかる。

*スキル

教養や訓練を通して獲得した能力のこと。技能と呼ばれることもある。

1. ファシリテーションとは。

- ・ファシリテーションの目的
- ・ファシリテーションにおける心構え

2. 場のデザインスキル。

- ・目的を明確にする
- ・目標を設定する
- ・進め方(プロセス)を決める

3. 対人関係のスキル。

- ・「傾聴」のスキル
- ・「介入」のスキル
- ・構造化のスキル
- ・要点を見つける

5. 合意形成スキル。

- ・合意形成における役割
- ・コンフリクトマネジメント

6. ファシリテーション(会議)演習。

- ・グループでファシ

リテーターを含むそれぞれの役割を踏まえて会議に臨む

*ファシリテーション

「ものごとを円滑に進め、促進する」ことの意味。ここでは会議などの集団活動を円滑に進め、成果があげられるように、「段取り」「進行」「支援」をすることを目的に行う。このファシリテーションを担う人をファシリテーターと呼ぶ。

*コンフリクト意見の対立のこと。



グループ内演習

議会フェイスブックページから、議会情報の発信中。
こちらからどうぞ
<https://www.facebook.com/yoshidachougikaiict>



(QRコード)

動画や写真のスライドショーなど、
議会活動の様子をご覧いただき、ご意見をお寄せください。

第13回吉田町議会報告会出席のお礼

第13回議会報告会には多くの方々のご参加をいただき、誠にありがとうございました。
議会報告会でいただいたご意見やご要望は報告書を持って回答させていただく所存であります。
次回のご出席をお待ちしております。

吉田町議会議員一同

新鮮でおいしいものを！



なでしこ会 売店

苦勞したことは、
端境期の農作物の品不足が辛い
です。
しかしながら、変わらず足を運
んでくださるお客様に感謝の気持
ちでいっぱいです。利益は薄くとも
喜んでいただける新鮮で美味し

会員の構成は。
会員は50名程度です。50代から
80代です。お客様に喜ばれる味付
けなど伝統が受け継がれて励みに
なっています。

会を立ち上げたきっかけは。
始めは小規模でしたが、吉田町
で開催された緑花祭に参加、多く
の方々を協力をいただきこれが力
となり今日にいたりました。

「なでしこ会」の皆さんにお話を
うかがいました。

ますの話題



西浜公会堂 落語会



住吉杉の子園 敬老会

いものを味わっていただくとも
に来てくださる方との会話とふれ
あいも大きな励みです。
今後の抱負は。
感謝の気持ちにおもてなしのこ
ころで、次の世代に引き継いでい
く後継者づくりです。
なでしこ会の皆さんご協力有難
うございました。

あとがき

吉田町議会第3回定例会は、町民の福祉向上、安心、安全を念頭に置いて審議、承認し閉会しました。9月は天候不順に影響を与えました。10月に入り交通安全パレード、区民運動会や地域の伝統行事のお祭などが行われ、吉田町内に賑わいもたらされました。吉田たんぼでは、実りの恵みの稲が刈り取られ、特産品のレタスが植え付けられ景色も一変、季節の移ろいを感じさせられます。よしだ議会だよりも町民の皆さんに親しまれる紙面づくりを目指してまいります。

(M・M)

議会広報特別委員会

委員長 大石 巖
副委員長 三輪美由紀
委員 山口 一博
三輪 昌代
河原崎 昇司